

第 37 回（令和 7 年度第 3 回）公立大学法人 公立小松大学 経営審議会 議事概要

- 1 日 時 令和 7 年 12 月 24 日（水）13 時 28 分～14 時 28 分
- 2 場 所 中央第 2 キャンパス会議室
- 3 出席者
石田委員長（理事長）、山本副委員長（学長）、志村委員（副学長）、千葉委員、
山崎委員、西委員、鈴木委員、越田委員、清水委員
監 事
松本監事、能登監事
理 事
森理事
欠席者
新家委員
- 4 議 事
 - (1) 前回、議事概要の確認
委員長より前回の議事概要について説明があり、原案どおり承認された。
 - (2) 審議事項
 - ① 役員報酬規則の一部改正について
 - ② 職員給与規則の一部改正について
 - ③ 非常勤職員給与規則の一部改正について
総務課長より、資料 2 から資料 4 に基づき、役員、職員および非常勤職員の給与規則の一部改正について説明があった。審議の結果、原案どおり承認された。
 - ④ クロスアポイントメント制度に関する規則の制定について
志村委員より、資料 5 に基づき、クロスアポイントメント制度に関する規則の制定について説明があった。審議の結果、原案どおり承認された。
 - ⑤ 学則等の一部改正について
志村委員より、資料 6 に基づき、学則等の一部改正について説明があった。審議の結果、原案どおり承認された。質疑応答の内容については下記のとおり。

▶長期履修制度の導入について

山崎委員より、修業年限を超えることはないのかと確認があり、志村委員より、修業年限を超えるものではない旨回答があった。また、海外留学を行った学生が卒業までに5年以上を要した場合の授業料の取り扱いについて質問があり、志村委員より、現時点では休学として取り扱っているが、今後検討していく旨回答があった。

▶早期卒業制度の導入について

山崎委員より、3年間で4年分の単位を修得するという認識で相違ないかとの確認があり、志村委員より認識の通りである旨回答があった。

千葉委員より、早期卒業に伴う授業料について確認があり、志村委員より、授業料は3年分のみとなる旨の回答があった。

▶カリキュラム改正に伴う学則別表の改正について

山崎委員より、カリキュラム改正の趣旨について質問があり、志村委員より、一人の学生がローカルとグローバルの両方を学修できるようにすることを目的とした改正である旨説明があった。

▶学則改正について

森理事より、学則改正に係る附則の記載に誤りがあるとの指摘があり、当該箇所については事務局において訂正することとなった。

▶留学者数について

越田委員より、海外へ留学している学生の人数について質問があり、志村委員より、短期語学研修等を含めると年間80名程度である旨回答があった。

⑥ 学生認定留学奨学金規程の制定について

志村委員より、資料7に基づき、学生認定留学奨学金規程の制定について説明があった。越田委員より、本規程の奨学金を利用する学生の想定人数について質問があり、志村委員より、1名程度を想定している旨回答があった。審議の結果、原案どおり承認された。

⑦ 授業料等に関する規則の一部改正について

事務局長より、資料8に基づき、授業料等に関する規則の一部改正について説明があった。審議の結果、原案どおり承認された。

(3) 報告事項

① 公立小松大学次期理事長について

委員長より、資料9に基づき、公立小松大学次期理事長について報告があった。総務課長より、略歴及び任期等について補足説明があった。

- ② 公立小松大学次期学長候補者について
委員長より、資料 10 に基づき、公立小松大学次期学長候補者について報告があった。
- ③ 北陸銀行との包括連携協定締結について
副委員長より、資料 11 に基づき、北陸銀行との包括連携協定締結について報告があった。
- ④ 就職内定状況について
事務局長より、資料 12 に基づき、就職内定状況について報告があった。山崎委員より、留年する学生の主な理由について質問があり、志村委員よりメンタル面や学修に困難を抱える学生が一定数おり、本学ではヒューマンリソースコーディネーション機構を中心に、部局と連携しながら学生の相談に対応しており、今後も丁寧に対応していく旨説明があった。また協力会会員企業への就職状況については、昨年度実績で全体の約 4 割が協力会会員企業に就職している旨、総務課長より補足説明があった。
- ⑤ 学位記授与式・入学宣誓式の会場変更について
総務課長より、資料 13 に基づき、学位記授与式・入学宣誓式の会場変更について報告があった。
- (4) その他
- ① 施設整備について
副理事長より、大学院生の教育研究環境の充実のため、末広キャンパス駐車場に新たな研究実験棟 (SOUTH 棟) の建設を予定していること、また栗津キャンパスに学内外での共同研究を推進するためのプロジェクト棟の建設を構想している旨報告があった。

以 上